

指定管理者プレゼンテーション審査

審 査 講 評

豊田市指定管理者選定委員会

第1分科会

1 はじめに

豊田市が平成21年4月以降の指定管理者を選定するために設置した豊田市指定管理者選定委員会から、指定管理者公募施設のプレゼンテーション審査に関する事務を分担するため、本分科会を設置した。本分科会は申請団体が行うプレゼンテーションを審査し、選定審査基準書に示す総合得点を算出するため加算点を決定した。

2 審査委員の構成

豊田市指定管理者選定委員会第1分科会の委員の構成は以下のとおりである。
なお、分科会が決定する加算点は、各委員の得点に下記ウェイト率を乗じて合算した数値とした。

役職	氏名	所属等	ウェイト	
分科会長	西原 香保里	愛知みずほ大学教授	30%	
委員	柿島 喜重	豊田市総務部長	所管部局 20%	その他 10%
	藤村 信治	豊田市子ども部調整監		
	岩田 信男	豊田市環境部調整監		
	鈴木 辰吉	豊田市産業部調整監		
	川上 保雄	豊田市建設部調整監		
	幸村 的美	豊田市教育委員会調整監		

3 所掌施設

本分科会は、以下の3施設に係るプレゼンテーション審査を所掌した。

- ・豊田市五ヶ丘運動広場
- ・猿投棒の手ふれあい広場及び豊田市棒の手会館
- ・平戸橋公園及び平戸橋いこいの広場

4 審査日程

日程	内容
平成20年11月5日(水)	審査方法確認協議 プレゼンテーション審査①
同年 11月6日(木)	プレゼンテーション審査②

5 審査方法

プレゼンテーション審査は、選定審査基準書に示している評価項目及び指標それぞれについて、各委員がAAA、AA、A、B、Cの5段階評価を行った。
なお、説明内容が標準的であり加算には及ばないものはCとして評価した。

分科会全体の加算点は、上記のとおり各委員の得点にウェイト率を乗じて合算したものとした。

6 審査結果

(1) 豊田市五ヶ丘運動広場

応募団体	加算点
(財) 豊田市体育協会	9. 3
A団体	2. 2

- ・ 指定管理者として内定した(財) 豊田市体育協会については、スポーツターフ(芝生)の管理実績が優れており、あわせて施設の許容量を理解した上で、地域住民と協力したグランドゴルフ大会の自主事業の提案がなされていた。その他、芝カス等を活用した堆肥づくり等の環境への配慮に関する取組も評価ポイントとなった。
- ・ A団体は、当該施設の管理運営を通じて、近隣地域住民の交流や活性化を図ることを掲げて各種の提案がなされており特徴的であった。また、低年齢層向けのサッカー教室などの自主事業や剰余金を当該施設の備品購入の財源とするなどの提案もあったが、いずれも具体性やPR度が特に優れているとは言えず高い加算点には至らなかった。

(2) 猿投棒の手ふれあい広場及び豊田市棒の手会館

応募団体	加算点
ホームックス(株)	10. 0
B団体	2. 6

- ・ 指定管理者として内定したホームックス(株)については、多種多様な自主事業が計画されていたほか、組織的に対応する適切な苦情処理体制やスタッフに対する研修計画なども充実しており、全般的に高い評価となった。
- ・ B団体は、キッズスポーツ教室を軸とした自主事業の提案が特徴的であり、子どもの参加をきっかけとして家族を巻き込んだ交流促進事業について意欲的なPRがあった。また、施設管理に伴う環境への配慮として植栽事業などの新たな提案も見られたが、類似施設の管理運営実績に乏しく、適切な人材の確保策にも若干の不安が見受けられ、高い加算点には至らなかった。

(3) 平戸橋公園及び平戸橋いこいの広場

応募団体	加算点
(株) 技研サービス	12.7
C団体	9.3
D団体	8.0
B団体	2.3

- ・ 指定管理者として内定した(株) 技研サービスについては、豊田市外で公園等の指定管理実績を有しており、この経験を十分踏まえながら、当該施設を管理運営していく上でポイントとなる要素を的確に分析しており、全般的に優れた計画内容であった。特に、地元団体との連携策やスタンプラリー等の事業の計画が特徴的であったほか、剰余金が発生した場合には当該施設の充実のための財源に充てるという方針も一定の評価がなされた。
- ・ C団体は、当該施設の地域の歴史を学ぶ市民講座の新規提案があったほか、施設の実情や地域性をよく理解した提案がなされており、全般的に高い評価を得た。また、団体もつ自己財源を当該施設の事業運営経費に充当するという方針も評価されたが、一方で、現状の問題点の分析やその改善策といった観点で十分とは言えず、評価を留めた要素となった。
- ・ D団体は、当該施設の公園としての効用を高めるため、特徴ある植樹事業や地域住民と連携した花づくり事業など新たな提案があり、一定の評価がなされた。また、24時間電話対応が可能な組織体制や利用者へのメールサービスにも特徴があり評価されたものの、人材確保策や苦情処理計画等は特段の加算には至らないものであった。
- ・ B団体は、猿投棒の手ふれあい広場と同様に、キッズスポーツ教室に関する提案が特徴的であり、また剰余金が発生した場合には芝生広場の整備等に関する費用に充当する旨の提案もあった。ただし、当該施設の地域性や民芸館を併設しているという特性に関する認識が高いとは言えず、また、人材確保策にも不安が残る提案内容であったため、高い加算点の付与には至らなかった。

以上

指定管理者プレゼンテーション審査

審 査 講 評

豊田市指定管理者選定委員会

第2分科会

1 はじめに

豊田市が平成21年4月以降の指定管理者を選定するために設置した豊田市指定管理者選定委員会から、指定管理者公募施設のプレゼンテーション審査に関する事務を分担するため、本分科会を設置した。本分科会は申請団体が行うプレゼンテーションを審査し、選定審査基準書に示す総合得点を算出するため加算点を決定した。

2 審査委員の構成

豊田市指定管理者選定委員会第1分科会の委員の構成は以下のとおりである。
なお、分科会が決定する加算点は、各委員の得点に下記ウェイト率を乗じて合算した数値とした。

役職	氏名	所属等	ウェイト	
分科会長	村林 聖子	愛知学泉大学准教授	30%	
委員	福嶋 兼光	豊田市総務部調整監	所管部局 20%	その他 10%
	加藤 武男	豊田市社会部調整監		
	倉橋 剛	豊田市福祉保健部調整監		
	山田 正秋	豊田市都市整備部調整監		
	杉浦 賢平	豊田市上下水道局次長		
	佐藤 隆志	豊田市教育委員会専門監		

3 所掌施設

本分科会は、以下の3施設に係るプレゼンテーション審査を所掌した。

- ・豊田市足助プール
- ・高岡コミュニティセンター、六鹿会館及び高岡運動広場
- ・高橋コミュニティセンター及び加茂川公園

4 審査日程

日程	内容
平成20年11月5日(水)	審査方法確認協議
同年 11月6日(木)	プレゼンテーション審査①
同年 11月7日(金)	プレゼンテーション審査②

5 審査方法

プレゼンテーション審査は、選定審査基準書に示している評価項目及び指標それぞれについて、各委員がAAA、AA、A、B、Cの5段階評価を行った。
なお、説明内容が標準的であり加算には及ばないものはCとして評価した。

分科会全体の加算点は、上記のとおり各委員の得点にウェイト率を乗じて合算したものとした。

6 審査結果

(1) 豊田市足助プール

応募団体	加算点
シンコースポーツ（株）	16.3
E団体	5.6

- ・ 指定管理者として内定したシンコースポーツ（株）については、近隣地域を含む全国各地において多数のプール施設の管理運営実績を有しており、そのノウハウを活かした各種提案がなされていた。特に、人員体制に関しては、他施設において管理運営実績を挙げた人物を当該施設に配置する計画があるほか、スタッフの配置計画も具体的かつ適切なものであり評価がなされた。その他、機器を活用した熱中症予防対策をはじめとした各種安全対策が充実していることや、アクアビクス教室の実施計画に関しても一定の評価がなされた。
- ・ E団体についても、近隣地域のプール施設の管理運営実績を有しており、実務経験のある責任者の配置やAEDの設置を含む適切な管理運営方針等について一定の評価がなされた。一方で、新たな自主事業の提案や施設の有効活用に関する計画に具体性がなく、評価を留める要素となった。

(2) 高岡コミュニティセンター、六鹿会館及び高岡運動広場

応募団体	加算点
アクティオ（株）	19.0
F団体	7.8

- ・ 指定管理者として内定したアクティオ（株）については、豊田市外において地域コミュニティ施設、体育施設、歴史文化施設等の指定管理実績を多数有している。この経験を踏まえて、細やかなサービス・配慮のある施設運営が計画されており、総合的に優れた内容が提示されていた。特に、自主事業については教養講座、文化事業、サポーター養成事業、市民交流事業など質の高い内容が計画されており、また、当該施設に含まれる六鹿会館の位置付け等にも高い理解が示されていた。その他、愛・地球博の会場顧客サービス業務等の経験を活かしたスタッフへの研修計画やモニタリング方法なども高い評価がなされた。
- ・ F団体は、多彩な自主事業の計画があり、また社内に各種有資格者をもつことから質の高い維持管理が期待できる計画となっていた。また、コミュニテ

ィセンターにおける地域会議やわくわく事業（いずれも市主催事業）の支援に関する提案もあり、施設の管理面及び運営面の全体に渡って優れた計画となっていたが、当該施設の特性に応じた提案・計画という観点が特に優れているとは言えず、一定の評価に留まった。

(2) 高橋コミュニティセンターおよび加茂川公園

応募団体	加算点
ホームックス（株）	9.5
G団体	4.5

- ・ 指定管理者として内定したホームックス（株）については、当該施設の管理者に必要であるプールの管理運営ノウハウを有しており、施設の維持管理に必要な知識や安全管理方策などにおいて高い評価がなされた。また、自主事業についても、水難事故防止講座など施設の特性に応じた内容が計画されているとともに、その他多彩な自主事業の提案があった。
- ・ G団体は、地域の高齢化対策を意識した健康づくりに関する自主事業の提案があり、専門的な知識及び器材を活用し、大学と連携した保健事業を展開するという内容が特徴的であった。また、サークル活動支援や多種多様な自主事業の提案に関することや、剰余金の50%は市に返還する旨の提案があり一定の評価がなされた。一方で安全管理の方策や危機管理、苦情処理、環境への配慮に関する項目は、特段の加算には至らない評価となった。

以 上